

## 編集後記

▽『禅研究所紀要』第四十二号をお届けします。

▽本年度は、春・秋の二回、研究会を開催しました。春学期は鶴見大学仏教文化研究所所員の尾崎正善先生をお迎えして、「禅宗儀礼の研究―儀礼の変遷過程とその背景―」をテーマにお話しいただきました。曹洞宗の清規が社会の変容に応じて変化してきたことを、具体的な事例を挙げながら詳しく解説していただきました。秋学期は、全国青少年教化協議会・臨床仏教研究所上席研究員の神仁先生に「現代社会における臨床仏教師の役割」という論題でご発表いただきました。多様化する現代社会において、人間の生老病死にまつわる苦悩に向き合い、支援をする臨床仏教師の役割と必要性をご説明いただきました。両先生に感謝申し上げます。

▽本号には、尾崎・神両先生のご発表の内容を掲載しました。また、大学院のゼミにおける成果を一編掲載することができました。ご執筆いただいた諸先生方に深謝申し上げます。

▽口絵の寒巖義尹禅師木像の写真は、九月に実施した参禅会研修旅行で訪れた、熊本県宇土市の如来寺で撮影したものです。この木像は、義尹禅師自らの作とも伝えられるものです。

▽本年度、新たに加藤正賢研究員がスタッフに加わりました。本山での修行歴も長く、坐禅指導においても強力な戦力を得たとよろこんでいます。加藤研究員の活躍を期待します。

▽この四月に名城公園キャンパスがオープンします。既存のキャンパスも含め、本学の教育・研究がより充実したものになることを祈念します。

▽本号の刊行にあたり、ご尽力いただきました関係各位に、心よりお礼申し上げます。  
(編集委員 河合泰弘記)

### 禅研究所紀要(第四十二号)

平成二六年三月一六日 印刷 (非売品)  
平成二六年三月三一日 発行

発行責任者 岡 島 秀 隆

発行所 愛知学院大学禅研究所

愛知県日進市岩崎町阿良池二二  
電話(〇五六)七三一―一一代  
郵便番号 四七〇一〇一九五

印刷所 株式会社 あ る む

名古屋市中区千代田三―一―二二  
電話(〇五)三三三―〇八六一  
郵便番号 四六〇一〇〇二二